



6.1.15 大隊訓練始め



(発行) 7 施大くろがね会
(編集) 7 施大第1 係広報
TEL0123-23-5131(内2618)

【印刷所】
千歳印刷株式会社
千歳市錦町3丁目3番地
TEL0123-23-2229

大隊長要望事項
「プロたれ」

年頭のご挨拶



第7施設大隊長
東山 秀史

第7施設大隊の隊員諸官、ご家族の皆様、くろがね会員を始めとする諸先輩並びに関係者の皆様、新年明けましておめでとございます。また、平素より第7施設大隊に対する深いご理解とご厚情を賜り、心よりお礼申し上げます。

昨年は、終わりの見えないロシアによるウクライナ侵略、ハマスによるイスラエルへの奇襲侵入、そして中国の力による一方的な現状変更の試みや活動の活発化等、世界中で戦後の安定した国際社会の根幹を揺るがしかねない深刻な事態の危機にある中、令和4年12月に閣議決定された戦略三文書の実行一年目といった大変重要な年でありました。

特に、国家防衛戦略においては、「2027年度までに、我が国への侵攻が生起する場合には、我が国が主たる責任をもって対処し、同盟国の支援を受けつつ、これを阻止・排除できるように防衛力を強化する。」との記載がなされ、その誓いの下、第7施設大隊は、陸上自衛隊の決戦戦力である第7師団(機甲師団)を支える施設科部隊として、「プロ意識」を堅持して更なる施設技術の向上のため、日々訓練等に動んできたところであります。

更に、今年は2月に大隊訓練検閲を控えており、現在、大隊一丸となって士気旺盛に準備を促進しているところであります。この間、大隊において重大な事故等もなく円滑に隊務を遂行していただくことができたことは、ひとえに皆様からのご理解とご協力の賜物であり、心から感謝申し上げます。

また、昨年は7名の定年退官者に対する慰労・持続走・炊事競技会における激励、そして何より「くろがね会45周年記念」に伴う各種行事にお招きいただき、皆様と親睦を深めることができ、改めて感謝申し上げます。

本年もあらゆる任務をも克全し得る第7施設大隊として、引き続き大隊一丸となって汗をかき続けることをお誓いするとともに、皆様にとって天高く上る龍のように勢いのある一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、ご挨拶と致します。



第7施設大隊
くろがね会 会長
内之段 道夫

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
くろがね会会員の皆様、現職隊員の皆様におかれましては、新年はどのような幕開けになりましたでしょうか。

昨年は、皆様とともに「くろがね会発足45周年」を祝うことができましたし、部隊におきまして、大隊訓練検閲受閲をはじめとした各種の隊務を着実に遂行されたとのこと、渾沌とする国内外情勢の中でも着実に歩を進めることができた一年であったと思います。
昨年9月で、胆振東部地震から5年が経過しましたので、今年は「備え」について書いてみます。

皆さんは、お住まいの地域のハザードマップを確認されていますか？自分の身に迫る災害の種類と規模について把握し、それに対する備えはできていますか？幾つかある災害の中で、今一度、地震災害について考えてみると、最も発生の蓋然性が高いのは、厚岸沖や襟裳沖を震源とする太平洋プレート型の地震です。

私達の地域に及ぼす影響は、まさに胆振東部地震の規模を想定すればいいかと思えます。そうしますと、国道36号線沿いに住まわれる皆様は、避難所に避難することではなく、自宅を避難所とした「在宅避難」できるための備えが重要となってきます。

備えのキーワードは、T(トイレ) K(キッチン) B(ベッド)と言われています。各家庭の構成(年齢・性別・病気の有無等)によって、備える物の種類や数量は異なるかと思いますが、少なくとも3日分程度は備える必要があるかと思えます。備えにあたっては、普段から少し多めに食品・加工品を購入しておき、使った分だけ買い足していくことで一定の食糧を備蓄しておくという「ローリングストック」という方法が有効かと思えます。

また、万が一の備えとして、住所・氏名・連絡先・かかりつけ医・常用薬を記した「安心カード」を準備されておくことも検討されては如何でしょうか。

今年も、皆様のご無事とご多幸をご祈念申し上げます。



最前任上級曹長
橋本 渉

新年、おめでとうございます。
平素から部隊活動にご理解・ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、各種訓練を通じて実力を深化させるとともに、准曹士一丸となり、心を磨き、人間の向上に取り組んで参りました。

世界の情勢は昨年から引き続き緊張度を増しており、我が国の安全を自衛隊が主たる責任をもつて守り抜くため、引き続き我々の能力向上は急務であります。そのような中においても、組織を構成する根本は「人」であり、我々一人ひとりが、如何なる心を持ち、如何なる人物となるかが、極めて重要であると考えております。心を正しく保つ。小さな善行を積み上げる。自らの身を修め、家族を幸せにし、周囲を感化し、正しく導く。そういう人間になれるように、また、日本人として、父親として、母親として、社会人として、それぞれの立場において僅かでも成長できるように、私自身の成長を根本として、CSM朝礼等を通じて准曹士互いに切磋琢磨し、心を磨いていく所存です。

本年も、OBの皆様、ご家族皆様との連携をより一層深めつつ、訓練に邁進して参ります。皆様のご健勝・ご多幸を心より祈念申し上げます、年頭の挨拶と致します。



第7施設大隊
曹友会 分会長
江口 猛

明けましておめでとうございます。

昨年5月8日より2020年から続く新型コロナウイルスの扱いも5類に移行し、各種行事・イベントなどもコロナ前に戻り始め、制限なく参加や支援などもできるようになり活動も活発になり、多くの参加や支援をしていただいています。引き続き積極的な参加や支援をしていただき、駐屯地及び大隊の曹友会と一緒に盛り上げていただけたら幸いです。また、曹友会誌への積極的な投稿もありがとうございます。スマートフォンなどにより投稿しやすい状態となっておりますので、こちらも引き続きの協力をよろしくお願いいたします。

さて、昨年は7名の先輩方が定年退官されました。これまでの数々のご指導に感謝申し上げます。また、1月1日に新たな会員が5名加入しております。温かく迎えるとともに、寛大なご指導をお願いいたします。今年度も引き続き最前任上級曹長、各中隊先任上級曹長をはじめ、各隊員の協力を改めてお願い申し上げます。最後に、本年が皆様にとって良き1年となります事を心よりご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

中隊長・幕僚 年頭の挨拶



本部管理中隊長
1等陸尉 岩城 雅嗣

新年あけましておめでとうございます。隊員ご家族の皆様及びくろがね会会員の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

昨年3月に第38代本部管理中隊長に就任し、勤務環境が大きく変化する中において、関係上司、隊員及び家族等に支えられ、任務を着実に完遂できたことに、改めて心から感謝とお礼を申し上げます。また、交通小隊偵察班及び衛生班の各直轄小隊・班検閲において各専門分野の能力を飛躍的に向上させることができました。今年も各機能の能力を集結し、より強固な本部管理中隊として、事有れば即応し、任務を必ず完遂して、大隊訓練検閲の任務完遂及び大隊の隊務運営に寄与できるよう、隊員一同、邁進していく所存でありますので、変わらぬご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

本年も皆様におかれましては、幸多き年となりますことを祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



第1中隊長
1等陸尉 有川 毅

謹んで新春のお慶びを申し上げます。本年が皆様にとって良き年であることを祈り申し上げます。

昨年8月に第1中隊長を拝命いたしました有川1尉と申します。我々第1中隊長は、昨年3月より第7施設大隊の本部管理中隊以外としては初となる女性隊員を迎え入れ、これまでで力強く溢れる第1中隊長の伝統と多様性の新たな力を融合させた次世代の施設中隊としての第一歩を踏み出す歴史的な1年でありました。

本年度は、ますます不安定化・複雑化を増大させる厳しい安全保障環境において、より強靱かつ実戦的な事態対処能力の向上が求められる年になると考えています。そのため、女性隊員を含めたすべての隊員が中隊一丸となって団結し、日々の任務に邁進することで国防に寄与できるよう全霊で努めてまいります。

隊員ご家族の皆様、くろがね会の皆様には、引き続きのご理解と温かいご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとって良き年であることを重ねて祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



第2中隊長
1等陸尉 佐々木 大祐

新年明けましておめでとうございます。

令和5年は、新型コロナウイルスの影響による各種行動規制等が徐々に緩和される中、中隊隊員が一丸となり隊務に邁進してきました。特に、攻撃支援課目に真剣に取り組む、各隊員が成すべきこと、各長（リーダー）に求められていることを主眼として教育訓練しました。これらを継続して練成できたのも、隊員それぞれの弛まぬ努力と、ご家族のご理解、ご協力あつてのことだと本当

にありがたく感じているところであります。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境は、ウイズコロナにおいても一層厳しさを増しており、我々自衛官の果たすべき国防という役割に変わりありません。引き続きロシア・ウクライナ情勢やガザ地区侵攻等を注視しつつ、首都直下地震や南海トラフ地震等の蓋然性の高い災害等へ備えることを怠らず、日々精進していく所存であります。本年もご家族皆様の変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、隊員ご家族の益々のご多幸をお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



第3中隊長
1等陸尉 野市 眞子

隊員ご家族・くろがね会会員・関係者の皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中も、中隊の隊務に対するご理解並びにご支援を賜りましたことに深く感謝申し上げます。

また、今年度計画しておりました各種訓練等が滞ることなく、実施をできておりますのも、ご家族・隊員一人一人の理解と協力の賜物であり、大変ありがたく感じております。

国内においては、「コロナ禍」という言葉も過去の産物になり、皆様の生活も元に戻りつつあることと思えます。国外においては、ロシアのウクライナ侵攻が今もなお継続される中、以前より戦火を交えていたパレスチナ問題が急変し、多くの民間人を含む多数の犠牲者を出す事態が相次いで生じています。両事象は、経済安全保障においても我が国への影響を払拭することはできないとともに、地政学上重要な地域に位置する我が国は、台湾有事を始め各種事態に備えることがその教訓を日々の訓練に反映することがより必要となつていきます。引き続き、真に戦える中隊の創造に隊員一丸となつて励むとともに、その成果を大隊検閲において発揮し大隊の任務達成に貢献する所存であります。

今後とも皆様からのご指導、ご鞭撻、またご協力を賜りますようお願い申し上げます。



第4中隊長
1等陸尉 住友 優希

隊員ご家族・くろがね会会員・関係者の皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は皆様より、常日頃から隊務へのご理解・ご支援を賜り、誠にありがとうございました。

昨年8月に第4中隊長に上番し、これまで諸先輩方が築き上げてきた伝統を継承しつつ、真に戦える部隊・隊員とは何たるかを日々自問自答し、中隊の精進に邁進しております。昨年に引き続きも各種上級部隊計画訓練、伝統ある施設技術の向上させる訓練の他、中隊計画訓練においてバトラーを使用した戦術訓練、弾倉交換射撃、移動を伴う射撃、激動後の射撃等の応用射撃等を中隊として新たな取り組みを積極的にに行い、戦闘員としての能力の向上に励んでおります。

本年においても、更なる練磨に励み、中隊一丸となつて与えられた任務を必ず達成するために各種隊務に邁進し、精進してまいります。



第1係主任
1等陸尉 田所 清

新年あけましておめでとうございます。隊員ご家族並びにくろがね会会員の皆様、新年のご挨拶を申し上げます。

まずは、平素から部隊活動にご理解とご協力を賜り、深く御礼申し上げます。

昨年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、平素よりご支援をいただいたおかげで、ご家族やくろがね会会員の皆様との交流の場が少しづつ戻ってきました。また、訓練等においても、隊員相互に顔をしっかりと見て、心と心で会話をするという部隊の育成にとっても大切なものが戻ってきたように感じる年でした。

引き続き、陸上自衛隊唯一の機甲師団である第7師団隷下の施設大隊として、師団の任務達成のため皆様とともに一丸となり、施設大隊の伝統の継承と発展のため、日々精進していく所存です。

本年は、大隊訓練検閲など、昨年に比し、一層チーム力が求められる年となります。隊員、そしてご家族、くろがね会会員の皆様には引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

末筆に、皆様にとって本年が素晴らしい年となりますよう心より祈念して、年頭の挨拶に代えさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。



第3係主任
3等陸佐 藤田 克雅

新年明けましておめでとうございます。隊員、隊員ご家族並びにくろがね会会員の皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返り、各種大隊の事業を遂行するにあたり、様々なご協力やご理解、ご支援を賜りましたことに感謝致します。

機甲師団唯一の施設大隊として、大隊長を核心に日々の訓練等を積み重ねて「何時如何なる任務にも即応し、与えられた任務を完遂できる大隊」を目途に精進してきました。

本年は「甲辰（きのえたつ）」であり、一説では「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった縁起のよさを表しているそうです。来たる2月には、早速大隊訓練検閲受閲といった今まで積み重ねてきた訓練成果を最大限発揮する一大イベントが予定されています。私自身、引き続き向上心・探究心をもって職務に取り組むとともに、目的・目標を確立して教育訓練運営の主務者として尽力する所存でありますので、今までと変わらぬご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い致します。結びに、皆様方にとって本年が新しいことに挑戦して更なる飛躍の年になるとともに、今年一年のご健勝、ご多幸を祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



第4係主任
1等陸尉 高橋 惣由

第7施設大隊隊員並びに隊員ご家族・くろがね会会員・関係者の皆様、新年明けましておめでとうございます。令和5年3月より東北方面総監部から第4係主任に就任しました高橋と申します。

自分につきましては施設大隊勤務は初めてではなく、平成27年度まで在籍しておりましたので約7年振りの部隊勤務であり、一抹の不安を感じつつ着任しました。

昨年においては、国内情勢として新型コロナウイルスが落ち着いたかと思ったところ鳥インフルエンザによる災害派遣に始まり、国外情勢としては継続的な中国による南西諸島への侵略行為及び北朝鮮による度々なる大陸間弾道ミサイル等の繰り返しされる発射訓練、ロシアによるウクライナへの侵略等、自衛隊を取り巻く環境については一層厳しさを増していることを肌で感じているところです。

そのような環境の中において、機甲師団唯一の施設大隊として東山大隊長を核とし、大隊長要望事項「プロたれ」を実践できる隊員を育成すべく日々の練成訓練等に邁進しているところです。

今年には施設大隊として「冬季検閲受閲」を2月に控えているため、冬季における練成訓練等を継続的に実施しその練成向上を図り受閲態勢を確立するとともに、その練成訓練の成果を存分に発揮する所存であります。結びに、隊員ご家族・くろがね会会員の皆様、関係者の皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます、新年の挨拶いたします。



施設運用
1等陸尉 境 和彦

第7施設大隊隊員並びに隊員ご家族・くろがね会会員・関係者の皆様、新年明けましておめでとうございます。令和5年3月より、師団司令部施設課で施設運用幹部として慣れない司令部勤務に悪戦苦闘中です。

昨年5月より、新型コロナウイルスも「5類感染症」へ引き下げられ、数々の制約から解放され、くろがね会の皆様を含め、隊員同士の親睦を深める機会もコロナ以前に戻りつつあります。

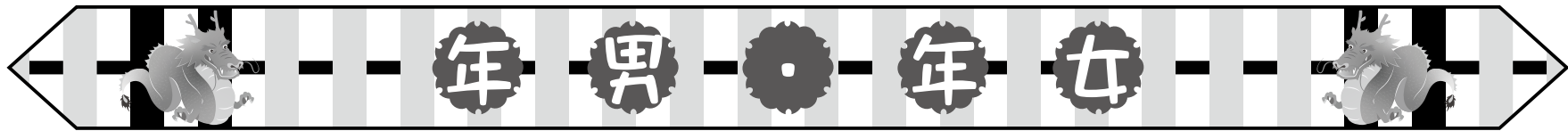
さて、我が家では相変わらず、一昨年前に家族として迎えたmixx犬ボムプー（ボムリアン×トイプードル）の「ラブリちゃん」と仲良く過ごしております。（二頭目のお迎えを検討中）

散歩に加えてランニングを継続して実施し、昨年は年間目標であった「フルマラソン完走」を無事完走（一部歩きでしたが）、し、目標を達成しました。

家族共々健康・健全で実りある一年でいられるよう努力するとともに、新たな目標を確立して引き続き「挑戦」の心で邁進します。

結びになりますが、今年一年が皆様にとって素晴らしい年になることを祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。





 <p>第3中隊 佐竹 章一</p> <p>たくさんの楽しい思い出をつくれる年にするために、どんな時も前向きにしっかりと楽しもう</p>	 <p>第2中隊 鈴木 謙二</p> <p>これからは後輩の育成に尽力し、中隊に貢献していきたいと思っています。</p>	 <p>第1中隊 武田 晃治</p> <p>2024年頑張ります！</p>	 <p>第1中隊 渡辺 竜哉</p> <p>健康に留意して、引き続き仕事面頑張っていきます。</p>	 <p>第1中隊 宮崎 津志</p> <p>健康第一！ 毎日ランニング！</p>	 <p>本管中隊 岩城 史忠</p> <p>48年とありあえず無事に過ごせました。 今年は「臨機応変」に対応していきたい。</p>	 <p>本管中隊 安藤 晃</p> <p>常に目的、目標の意識を保持し、前向きに頑張る。</p>	 <p>本管中隊 佐藤 義信</p> <p>頑張ります。</p>	 <p>大隊本部 山崎 信也</p> <p>エンドステートに向けた断捨離の推進。</p>	 <p>大隊本部 伊藤 陽一</p> <p>新年あけましておめでとうございます。 年男48歳の抱負は、今年1年も健康に過ごすことです。また、日々の業務と並行し、体力養成も積極的に実施して、衰えた体力を少しでも向上できるように頑張っていきたいと思っています。</p>
 <p>第3中隊 中川原成哉</p> <p>たつ年の龍のごとく、つよく凛々しく、猛々しく、どうとうと自分自身の剣を、しんじて己の道を進んでいこう</p>	 <p>第3中隊 山本 僚</p> <p>たくさんやることあるけれど、つぎのステップに向けて、頑張ろう</p>	 <p>第3中隊 平内 悠哉</p> <p>たくさん家族との思い出をつくるために、どんと点滴滴、しっかりと療養しよう</p>	 <p>第2中隊 佐々木 聡</p> <p>営外者になれますように。</p>	 <p>第1中隊 相馬 明仁</p> <p>もう一人頑張りたい。</p>	 <p>本管中隊 田中 和人</p> <p>幸多い年となる様に元気に頑張ります。</p>	 <p>本管中隊 向井 剛</p> <p>健康第一で頑張ります。</p>	 <p>本管中隊 山崎 涉</p> <p>36歳。 新制服がレベルアップしないように頑張ります。</p>	 <p>本管中隊 佐藤 孝郎</p> <p>今年は辰年ということ、何か目標を立てて辰（タツ）成する年にします！</p>	 <p>大隊本部 小野寺 将</p> <p>家族のために頑張る。</p>
 <p>第1中隊 高橋 侑真</p> <p>仕事のやりがいを見出す。</p>	 <p>第1中隊 伊藤 瑛典</p> <p>飛躍の年にします。 よろしく願います。</p>	 <p>第1中隊 新井ひなの</p> <p>今年は、横濱3曹に人気投票負けしないように頑張ります！</p>	 <p>本管中隊 加藤 琉慧</p> <p>新しい事に挑戦する一年にします。</p>	 <p>本管中隊 伊藤 将稀</p> <p>頑張ります。</p>	 <p>第4中隊 歌川 陸</p> <p>何事にもチャレンジ！ 獅子奮迅！</p>	 <p>第4中隊 木村雄太郎</p> <p>いつも通り！</p>	 <p>第4中隊 八木橋 勇</p> <p>凡事徹底に努める。</p>	 <p>第4中隊 大崎 晴志</p> <p>一步上の男目指して生きます。</p>	 <p>第3中隊 土岐 裕平</p> <p>たのしく生きなきや意味がない つまらない悩みも愚痴も、さようなら どんどん働いて、しっかりと休んで釣りにいこう</p>
 <p>第4中隊 柿沼 晃太</p> <p>七転び八起き。</p>	 <p>第4中隊 杉山 英悟</p> <p>年男として、更なる飛躍できるように、頑張っていきます。</p>	 <p>第4中隊 工藤 琉揮</p> <p>百折不撓 僕は誰にも止められない</p>	 <p>第2中隊 入谷 竜介</p> <p>陸士、辞めます。 陸曹になります。</p>	 <p>第2中隊 竹内 日悠</p> <p>今年が最後の自衛隊生活になるかもしれないので、悔いのないように過ごしたいと思っています。</p>	 <p>第2中隊 上原 徹</p> <p>私の年が来ました。 より一層活躍できるように頑張ります。</p>	 <p>第2中隊 新井 志門</p> <p>年男として一回りレベルアップした一年を過ごしたいと思っています。</p>	 <p>第1中隊 柿崎 比奈</p> <p>自分に甘え過ぎず、新しいことに挑戦する年にしたいです。 良い出会いがある事を信じ、年女として頑張りたいです。</p>	 <p>第1中隊 山田 翔</p> <p>新しいことにチャレンジする1年にしたい。</p>	 <p>第1中隊 市村 風花</p> <p>今年は愛嬌と根性に全パワーを注いで頑張ります！</p>

二十歳のつどい



第4中隊
杉浦 貫太



第4中隊
川上 鋭将



第2中隊
吉田 涼太



第2中隊
向井 大地



第1中隊
宮本 大樹



第1中隊
紺野 力貴



本管中隊
赤井 悠輝



本管中隊
松田 望

祝 二十歳おめでとう

各種競技会



炊事競技会

大隊は、令和5年5月10日・11日（前段）及び11月3日・4日（後段）令和5年度大隊炊事競技会を実施した。各献立毎審査員が採点し、総合得点が高い中隊を上位として評価した。各中隊は合計4種類の献立で、調理方法や味付けに工夫を凝らし、審査員の舌を唸らせていた。

統裁官である大隊長をはじめ、各主任幕僚等・各中隊長に加えて、特別審査員として管理栄養士の方を招いて審査していただく中、見事優勝を勝ち取ったのは第4中隊であった。

優勝 第4中隊
準優勝

持続走競技会

大隊は、令和5年11月21日・22日、東千歳駐屯地内において、令和5年度大隊持続走競技会を実施した。競技会は、記録会の部、武装走の部、駅伝の部をそれぞれ行い、各種目合計得点が高い中隊を上位とし、評価した。各中隊は、一丸となって春先より練成を重ね、その成果を十分に発揮すると共に、中隊の団結の強化を図っていた。

各種目拮抗した成績のなか、第3中隊が総合優勝を勝ち取った。

優勝（総合） 第3中隊
準優勝（総合） 第2中隊
武装走優勝 本部管理中隊



各種訓練

大隊情報訓練



大隊衛生訓練



大隊集中訓練



拳銃射撃



手りゅう弾投擲



MINIMI射撃



発射発煙弾射撃



L A M射撃



前方銃射撃



演習場秋季定期整備



昇任

1等陸佐へ	大隊本部	2等陸佐	東山 秀史
1等陸尉へ	大隊本部	2等陸尉	古川 郁
2等陸尉へ	大隊本部	3等陸尉	伊藤 陽一
1等陸曹へ	本管中隊	2等陸曹	佐藤 隆広
同	同	同	松浦 圭祐
同	同	同	成宮 健一
2等陸曹へ	本管中隊	3等陸曹	山内 勇作
同	同	同	相馬 明仁
3等陸曹へ	第1中隊	陸士長	佐々木 終映
同	同	同	加藤里 熙丸
同	同	同	山田 瑞樹
同	同	同	井口 海人
同	同	同	西尾 敏生
陸士長へ	本管中隊	1等陸士	上村 潤矢
同	同	同	紺野 力貴
同	同	同	向井 大地
同	同	同	坂本 大生
同	同	同	柿沼 晃太
同	同	同	川上 鋭将
1等陸士へ	本管中隊	2等陸士	赤井 悠輝
同	同	同	櫻井 美紅
同	同	同	杉浦 貫太

表彰

【師団長表彰】
第3級賞詞（無事故走行15万km）
本管中隊 2等陸曹 高橋 知樹
（令和5年11月29日付）

各種選抜試験合格

第105期
一般幹部候補生選抜試験
第1中隊 3等陸曹 依藤 啓太
（令和5年12月1日）

おめでと
う
ございま
す

永年勤続表彰

大隊本部	2等陸尉	古川 郁
本管中隊	2等陸曹	高橋 知樹
同	同	太田 靖彦
同	同	岡内 和也
同	同	中川 真吾
第2中隊	同	高橋 利治
第3中隊	同	星野 勝洋
同	同	吉田 達功
同	同	蛭名 司

新隊員後期教育紹介

教育期間
令和5年12月18日から
令和6年3月13日まで
（担当中隊 第1中隊）

第21期一般陸曹候補生
岩花 陸



くろがね会・隊員・御家族の
御発展と御健勝を
祈念申し上げます。
第7施設大隊曹友会・修親会

大隊一丸となって
益々の発展を
祈念申し上げます。
第7施設大隊くろがね会一同

くろがね会だより

くろがね会が45周年を迎え、師団創隊記念行事が終了後の5月22日に会員5名、現役19名の参加で安平ゴルフクラブにおいて45周年記念ゴルフコンペを実施しました。ダブルペリアでのスコアによる優勝は現役の吉田さん、準優勝は境さん、第3位は会員の三浦さんという結果でした。とび賞、ニアピン賞とそれ以外の人は参加賞を準備しておりプレー、食事、表彰の間それぞれ楽しんでいただきました。

9月24日に年間計画の第5回目を45周年記念パークゴルフとして会員17名、現役7名の6組24名の参加でつばさ公園パークゴルフ場において実施し、優勝は会員の相川さん、準優勝は竹中さん、第3位は安東さんという結果でした。とび賞は現役5名がそれ以外の人は参加賞となりました。

10月14日に45周年記念祝賀会を会員48名、現役14名の参加でホテルグランテラス千歳において、事務局長・理事の役職10年以上の会員鬼束さん、小林さん、増永さん、三浦さん、山下さん5名への感謝状を贈呈し、記念撮影後、会食を開始しました。その間、参加者62名にビンゴで楽しんでいただきました。

45周年記念品は「ワンプッシュ真空ステンレスボトル」を会員自宅宛に発送させていただきました。令和4年8月役員会から企画して1年間の準備で相川さん、小林さんのご協力とそれぞれの企画に参加していただいた会員及び現役の皆様に改めてお礼申し上げます。



くろがね会45周年記念パークゴルフ



くろがね会45周年記念祝賀会

くろがねパークゴルフ同好会

第5回	第6回
9月24日 晴れ つばさ	10月29日 曇り アンカレジ
参加人数20名	参加人数15名
第1位 相川 元 103	第1位 相川 元 103
第2位 竹中 一夫 106	第2位 増永 正明 116
第3位 安東 信一 106	第3位 根本 幸吉 118
第4位 根本 幸吉 108	第4位 藤原 實 122
第5位 境 和彦 113	第5位 鬼束 久 124
ホールインワン 【増永 正明】 【矢取 誠志】 【竹中 一夫】	ホールインワン 【福本 和彦】

年間総合成績

第1位 相川 元	第2位 安東 信一	第3位 竹中 一夫	第4位 根本 幸吉	第5位 増永 正明
皆勤賞 相川 元・藤原 實				

第7施設大隊 HP & SNS
随時更新中です!!

第7施設大隊
7th Engineer Battalion
<https://www.mod.go.jp/gsdf/nae/7d/hensei/team/e/7e.html>

こちらのQR
コードから
アクセス!



退官壮行会、各種ご宴会
プライダルのご用命は、
「ホテルグランテラス千歳」へ。
担当/笹谷

ホテルグランテラス千歳

【お問い合わせ・ご予約は】 千歳市本町4丁目4番(0123)22-1121(代)
営業部 宴会予約 TEL (0123)22-1151 <https://breezbay-group.com/hgt-chitose/>

防衛省 職 員 団 体 傷 害 保 険

<総合賠償型・親介護補償型(特約)オプション>
<団体長期障害所得補償保険「長期所得安心くん」略称: GLTD>

防衛省 退 職 後 団 体 傷 害 保 険

防 衛 省 共 同 済 組 合 が ん 保 険

<お見積・資料請求 <http://webby.aflac.co.jp/boue/>>

防 衛 省 共 同 済 組 合 火 災 保 険

●その他各種の損害保険

取扱代理店 **弘済企業株式会社**

詳しくは、下記の東千歳駐屯地保険常駐員にご相談ください。
東千歳駐屯地東厚生センター (内線 4766) 渡辺・奥山・高橋・清水まで

情報募集中

自衛官採用年齢上限が、
32歳になりました。

親類縁者やご友人等で、自衛隊に入隊・入学、再任用を希望する方又は自衛隊に関心があり応募の可能性があるとと思われる方はいませんか？
既知の隊員を通して、又は第1係援護・広報担当まで連絡をお願いします。

●問い合わせ先
第7施設大隊第1係援護・広報
電話番号
0123-12315131
(内線2618)

プロ集団の総合力。
わたしたちがご案内します。



神出設計 ecoa HOUSE
エコアハウス

フリーダイヤル
0120-018-935
本社 / 〒066-0028 千歳市花園2丁目1番5号(ウーモンパーク千歳側)
<http://www.jinde.co.jp>